

清須市自主防災活動支援制度

活用の手引き

清須市危機管理部危機管理課

目次

1. はじめに	1
2. 自主防災訓練の支援	
(1) 自主防災訓練とは	2
(2) 訓練の種類	2
(3) 自主防災訓練に対する市の支援体制	7
(4) 様式記入例	8
3. 自主防災組織補助金	
(1) 自主防災組織活性化事業（ソフト事業）	11
(2) 防災資機材購入事業（ハード事業）	12
(3) 補助額	12
(4) 申請の手順	13
(5) 様式記入例	14
4. 消火器薬剤の購入に関する補助金	
(1) 概要	19
(2) 申請の手順	19
(3) 様式記入例	20

1. はじめに

自主防災組織とは、伊勢湾台風（昭和 34 年）による被害を教訓として制定された「災害対策基本法」の中で位置付けられた住民の隣保協同の精神に基づく地域住民による自発的な防災組織のことです。

近年頻発しているゲリラ豪雨や発生が危惧されている東海・東南海地震などの大規模な災害が起こった場合、行政をはじめとした防災関係機関は、同時多発火災や道路網の破壊などにより、市域全体に渡ってのスムーズな対処が困難になると考えられます。こうした状況では、地域住民の皆さんによる初期消火、避難誘導、負傷者の救助・救護などの自主的な防災活動が被害の拡大防止・軽減のため大変重要となります。

こうした自主的な防災活動は、各自で行っていても大きな効果は期待できません。地域や隣近所の人々と力を合わせた活動こそが大きな効果を生み出すのです。このための組織が「自主防災組織」です。

一般に、行政機関による災害対策を「公助」、地域社会による助け合いを「共助（互助）」、個人によるものを「自助」と言います。災害時には、この3者が能力を最大限に発揮するとともに、相互のチームワークも重要となります。この冊子は、「共助」組織である自主防災組織と「公助」機関である市とが、平時から協力体制を作っていくために市の自主防災組織に対する支援制度をまとめたものです。

大規模災害からの教訓

公助

行政機関による総合的な危機管理、
応急・復旧対策、避難支援
市・消防・警察・自衛隊などの活動

災害対応には「限界」がある！

自助

個人や家族での災害対策
・家の安全（耐震・家具固定・持出品）
・家庭での取り決め（避難場所や連絡方法）

共助

地域での災害対策
近所・会社・自主防災組織・町内会

2. 自主防災訓練の支援

(1) 自主防災訓練とは

自主防災組織における日常の活動として、災害時に効果的な活動ができるよう、訓練、備蓄等の必要な災害への備えを行うこと、そして、地域住民が防災に関する正しい知識を共有し、各家庭で災害に備え、自主防災組織の活動への積極的な参加を促すことが重要です。活動の実施にあたっては、「日常の活動がいざというときに役立つ」という実効性にもとづき、防災をはじめとする地域の安心・安全な暮らしを守るための活動を、自分たちの日常生活の中にどのように組み込めるのかを念頭に置きながら活動を計画し、継続的に取り組むことが大切です。

その中でも、防災訓練は自主防災活動の核となる活動として位置付けることができ、実施にあたっては次の点に注意して進めると効果的です。

- 正しい知識や技術を習得するために、消防機関などの指導・助言を受ける。
- 訓練終了後に、検討会を行い、訓練内容を見直して必要な改善を行う。
- 地域内の事業所などの自衛消防組織、さらには近隣の自主防災組織とも共同して防災訓練を行う。
- 特定の災害だけでなく、地域の実状に即した訓練内容とする。
- 災害時要援護者にも配慮した効果的な訓練内容とする。
- 市や消防機関が主催する総合防災訓練には積極的に参加する。
- 短時間でも訓練を行えるよう、実施方法などを工夫する。
- 固定観念にとらわれず、応用動作ができるようにする。
- 訓練にあたっては、事故防止に努める。

(2) 訓練の種類

防災訓練としては、一般的に個別訓練、総合訓練、体験イベント型訓練及び図上訓練が代表的な訓練として実施されています。

次のページ以降にそれぞれ訓練の進め方の例を示します。

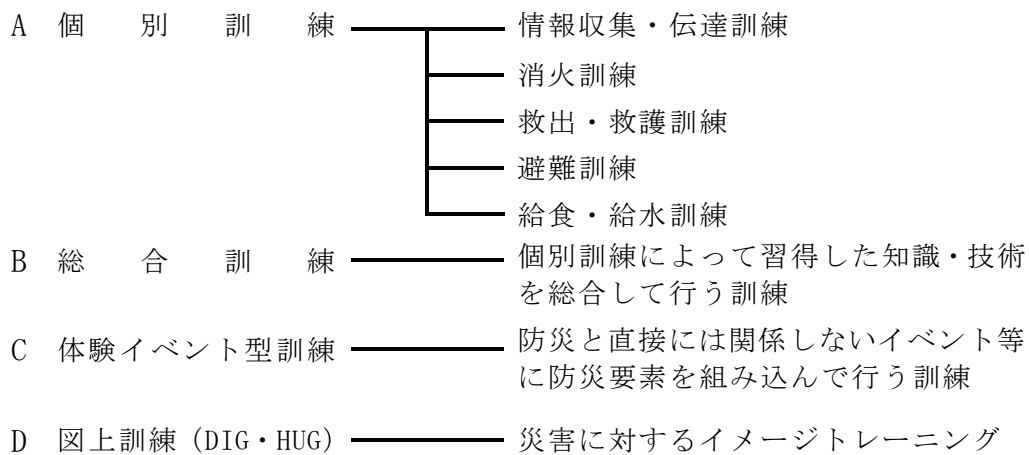


図 主な防災訓練項目

① 情報収集・伝達訓練

○ 情報伝達訓練

訓練内容	被災状況を市災害対策本部に伝える訓練
訓練の例	組長が各世帯を訪問し、被災状況を確認（すべて「異常なし」ではなく、全壊や半壊といった被害状況や、災害時要援護者の怪我の状況などを決めておく方法もあり）。組長は町内会長へ被災状況を報告。町内会長は被災状況をまとめる。

○ 防災スピーカー使用訓練

訓練内容	地区に設置された防災スピーカーを使って緊急放送の訓練
訓練の例	防災訓練の開始前に訓練開催を呼びかける。
用意するもの	町内会長が保管する鍵・脚立等

② 消火訓練

○ 消火器を用いた訓練

訓練内容	消火器を用いて実際に消火し、消火器の使い方を訓練
訓練の例	実際に火をつけて消火訓練を行う（火をつけず、専用袋への噴射訓練も可）。
用意するもの	消火器
備考	専門業者の手配が必要（分からなければ市にご相談ください）

※ 自主防災訓練で使用した消火器の消火剤の詰め替えについては補助制度があります。詳細についてはお問合わせください。

○ 水消火器を用いた訓練

訓練内容	水消火器（粉ではなく水が出るもの）を用いて、消火器の使い方を訓練
訓練の例	水消火器を的めがけ放水し、消火器の基本操作を習得する。
用意するもの	水消火器（市から貸与）
備考	1台につき3人程度訓練可能 ※ 粉末消火器が使用できない場合の代用訓練です。

○放水訓練

訓練内容	消防車両を使った放水訓練
訓練の例	消防団員による放水のデモンストレーションを見学。その後、実際に体験。
用意するもの	消防ポンプ車
備考	消防団への協力依頼が必要

③ 救出・救護訓練

訓練内容	消防署職員による人工呼吸・AED訓練 消防団員と協力し、倒壊家屋から被災者の救出訓練
訓練の例	ダミーの人形を使い人工呼吸・AEDを使用した応急救護訓練。 三角巾を使用した応急手当なども可。 倒壊家屋キットの中に被災者に見立てたダミーの人形を閉じ込め、ジャッキやバール等を使って救出する訓練。
用意するもの	屋外の場合はブルーシート、屋内で床の場合は毛布が必要 倒壊家屋キット・ダミー人形（市から貸与）
備考	消防署の派遣依頼が必要（市から依頼します） 消防団員への協力依頼が必要

④ 避難訓練

訓練内容	避難先施設までの避難誘導訓練
訓練の例	避難先までの道に、さまざまなシナリオを用意。例えば、Aさん宅では火災発生（＝水消火器を用いた消火訓練の実施）、Bさん宅では要援護者・要介護者の避難（＝車椅子や生活用品をつかった担架づくり）、Cさん宅では・・・といった形でそれぞれの場所で訓練

⑤ 給食・給水訓練

訓練内容	炊き出し訓練
訓練の例	ハイゼックス（緊急用炊飯袋）により米を炊く。一度に 50～70 人分強の炊飯可（所要時間約 1 時間強）。または、各世帯からの持ち寄り品による炊き出し訓練
用意するもの	炊き出しセット（市より貸与可能）、緊急用炊飯袋
備考	ボランティア協会に指導依頼も可能。器具の都合により開催日の調整が必要。 市の備蓄品で保存年限が短いものがあれば、提供可能。事前にご相談ください。

⑥ 避難所運営訓練（HUG）

訓練内容	避難所運営を地域で考えるための訓練
訓練の例	避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲーム形式の訓練。 プレイヤーは、この訓練を通して災害時要援護者への配慮をしながら部屋割りを考え、また炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、思いのままに意見を出しあったり、話し合ったりしながらゲーム感覚で避難所の運営を学ぶ。
用意するもの	机、椅子、筆記用具、カード、A4用紙、付箋、セロハンテープ、避難所間取り図、パソコン、プロジェクター など

⑦ その他

○ 地震体験車による地震体験

訓練内容	愛知県の地震体験車を用いて地震体験
訓練の例	過去の地震を人工的に再現し実際に体験。
用意するもの	地震体験車
備考	愛知県への借用が必要。 ※ 地震体験車の借用は市から県へ申請する。起震車の使用状況によって開催日の調整が必要。

※ 地震体験車の借用については 6 月末までに希望日を市までご連絡ください。希望日が他の市町村と重なった場合は抽選となり、希望日どおりに借用できない場合があります。

○ 防災家庭訪問

訓練内容	独居老人・昼間老人が一人になる世帯・災害弱者の世帯等を訪問
訓練の例	組長や自主防災会役員が、独居老人世帯などを訪問。「今日は防災訓練ですよ」からはじめて、地震に対する備えや不安について相談。あわせて無料耐震診断の実施及び住宅用火災警報器の設置などのPR。
備考	地域の民生委員などとの連携も必要

○ 災害時に役に立つものリストづくり

訓練内容	防災資機材倉庫に備蓄してあるもの以外にも、使えるものは各家庭や事業所に眠っている。これを調査し、リストを作成する。(キャンピング用品は、災害時に有効)
訓練の例	一度集まって、記入方法について説明を聞き、我が家に戻って防災資機材探し。地域の企業や事業所を尋ね、いざというときに使わせてもらえるものを調査。
用意するもの	記入用シート

○ 土のう作り訓練

訓練内容	水害に備え土のう作り
訓練の例	消防団などの指導をうけながら土のうを作り、備蓄する。
用意するもの	土のう袋、スコップ、土砂

○ 防災まちづくり懇談会

訓練内容	専門家による地震についての講演会。その後参加者で話し合い。
訓練の例	地震についての講演会を実施する。その後、参加者で地震に対する対応について話し合う。
備考	専門家の手配を市に依頼する場合は要相談

○ 防災資機材使い方訓練

訓練内容	自主防災会に保管された防災資機材の使い方などを訓練
訓練の例	自主防災会で保管している防災資機材の使い方について訓練する。また、保管場所について確認を行う。
用意するもの	自主防災会保管備品
備考	防災資機材の購入に対して補助制度があります。

(3) 自主防災訓練に対する市の支援体制

① 関係機関への派遣依頼・物品の貸与

訓練内容によっては、市や消防署職員の派遣が必要になることがあります。訓練計画書を市に提出いただければ必要な手続きを行います。以下の項目で協力できますので、ご活用ください。

○消防署職員の派遣依頼・調整（応急救護・救命訓練など）

⇒原則として1日1団体まで。重なった場合は先着順とします。

○市保有物品の貸与（防災備品借用願を提出してください）

⇒水消火器、はそりセット（ガスは各団体でご用意ください）、スコップ、テント、間仕切り、非常用持出袋、簡易担架、倒壊家屋キットなど

○備蓄食料の提供

⇒クラッカー、ビスコなど

（市の在庫より保存年限の短いものに限る）

○啓発DVD・パンフレットなどの提供

○市職員の派遣

○その他必要な事項についてあればご相談ください。

※ 自主防災訓練で公共施設を利用される場合は、直接施設予約を行ってください。また、消防団への派遣を依頼する場合も、直接行ってください。

② 災害補償等共済制度

防災訓練中の方が一の事故に備えて、市では共済に加入しています。訓練計画書を事前に提出していただければ、事故が起きたときに一定の補償ができます。

③ 訓練計画書・実績報告書提出のお願い

上記の支援を必要としない場合でも、自主防災訓練を実施する場合は、訓練計画書（事前）と実績報告書（事後）の提出をお願いします。

【記入例】

自主防災訓練実施計画書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

清須市長 様

自主防災会名 **清須自主防災会**

代表者氏名 **清須 一郎**

連絡先 **052-123-4567**

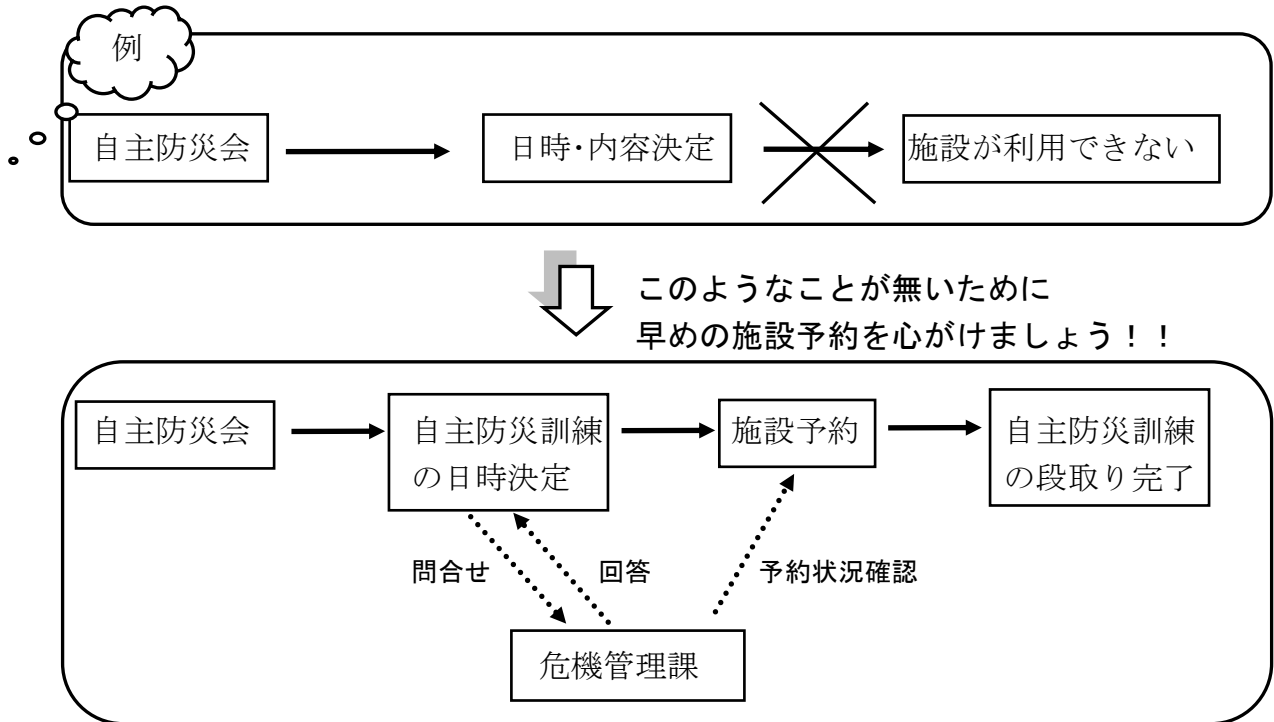
自主防災訓練を下記のとおり実施したいので、計画書を提出します。

実施日	(第1希望日・実施日) 令和〇〇年 9月 20日 (日) 午前・午後 9時 分から 午前・午後 11時 分まで
	(第2希望日・予備日①) 令和〇〇年 9月 27日 (日) 午前・午後 9時 分から 午前・午後 11時 分まで
	(第3希望日・予備日②) 令和 年 月 日 () 午前・午後 時 分 から 午前・午後 時 分まで
雨天時の対応	(1) 実施 (2) 延期 (3) 中止 (いずれかに○印をつけてください。)
実施場所	(晴天時) 清洲公園 — ※注1
	(雨天時) 中止
参加予定人数	約 100 名
訓練内容	(実施する項目に○印を、□欄はレ点をつけてください) (実施時間)
※注2	(1) 避難訓練 (自宅から会場までの避難訓練) : ~ :
※注3	(2) 初期消火 (□粉末消火器 <input checked="" type="checkbox"/> 水消火器) 訓練 9:00 ~ 9:30
	(3) 救急訓練
	① 普通救命 (<input checked="" type="checkbox"/> 心肺蘇生法 □AED)
	② 三角巾使用による応急手当
	西春日井広域消防本部職員派遣 (<input checked="" type="checkbox"/> 希望する □希望しない)
	(4) 炊出し訓練 (日赤炊飯セットを使用) : ~ :
	※ 使用物品 炊飯セット _____ セット クラッカー140食 ハイゼックス _____ 袋 おこげ 100食希望
	(5) その他 (具体的に: 防災用のDVD借用希望)
	市職員派遣 (<input checked="" type="checkbox"/> 希望する □希望しない) (派遣の内容: 避難所の運営について)

市への要望など記入欄が不足する場合は、適当な余白に追記してください。

※注1 自主防災訓練を、学校施設（体育館・グラウンド等）や庄内川水防センター等の公共施設で実施をされる場合

あらかじめ当該施設の予約（空き）状況をご確認いただき、早めの予約の確保に努めてください。また、利用する施設によって、申請窓口や受付開始時期等が異なりますので、不明な点等がございましたら清須市危機管理部危機管理課（TEL052-400-2911）までご連絡ください。



※注2 初期消火訓練を実施される場合

初期消火訓練において、消火器の取り扱いを訓練される場合は、事前に地元の消防団員へ指導（参加）を要請するようにしてください。

※注3 消防署員（西春日井広域事務組合）の派遣による救急訓練を実施する場合

消防署員の派遣により救急訓練を実施する予定をしていたが、天候等の理由により中止・延期することとなった時には、必ず訓練当日の午前7時30分までに西春日井広域事務組合 西消防署（電話052-409-2119）まで中止・延期の旨を連絡してください。

※延期の場合、他地区の予約が入っている等の理由で、消防署員の派遣による救急訓練が実施できないことがあります。

【記入例】

自主防災訓練実績報告書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

清須市長 様

自主防災会名 清須自主防災会

代表者氏名 清須 一郎

連絡先 052-123-4567

自主防災訓練を下記のとおり実施したので、報告します。

中止の場合も報告してください。

実施日	令和〇〇年 9月 27日 (日) ・中止 午前・午後 9時 分 から 午前・午後 11時 分まで
実施場所	清洲公園
参加人数	97 名 (一般参加者：92名、消防団：3名、その他：2名 <u>消防署</u>)
訓練内容	<p>(実施した項目に○印を、□欄はレ点をつけてください。) (実施時間)</p> <p>(1) 避難訓練 (自宅から会場までの避難訓練) : ~ :</p> <p>② 初期消火 (□粉末消火器 <input checked="" type="checkbox"/>水消火器) 訓練 9:00 ~ 9:30</p> <p>③ 救急訓練 9:30 ~ 10:30</p> <p>① 普通救命 (<input checked="" type="checkbox"/>心肺蘇生法 <input checked="" type="checkbox"/>AED)</p> <p>② 三角巾使用による応急手当</p> <p>西春日井広域消防本部職員派遣 (<input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無)</p> <p>(4) 炊出し訓練 (日赤炊飯セットを使用) : ~ :</p> <p>※ 使用物品 炊飯セット _____ セットクラッカー140食 ハイゼックス _____ 袋 おこげ 100食配布</p> <p>(5) その他 (具体的に: <u>防災用のDVD視聴</u>)</p> <p>市職員派遣 (<input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無)</p> <p>(派遣の内容: _____)</p>

記入欄が不足する場合は、適当な余白に追記してください。

3. 自主防災組織補助金

自主防災活動を支援する補助金制度として、自主防災組織補助金があります。

ただし、ブロックでの申請が条件となります。

(1) 自主防災組織活性化事業（ソフト事業）

ブロックでの、手づくりハザードマップの作成や防災研修会の開催などソフト事業の実施に対し補助を行います。

● 補助対象経費…下表の事業の実施に要した費用

補助事業の名称	区 分	補助対象経費
自主防災組織活性化事業	防災に関する計画の作成	ブロック自主防災組織規約や組織表等防災に関する計画書の作成費（印刷製本費、アドバイザーに対する報償費）など
	防災啓発活動の実施	講演会費（会場使用料、講師報償費）、防災パンフレット・手づくりハザード（地域安全）マップ作成費（印刷製本費、アドバイザーに対する報償費）など
	防災研修会の実施	研修会費（研修資料代、会場使用料、施設利用料、講師報償費、交通費）など
	その他	市長が特に必要と認める経費

※ 補助の対象となる事業及び経費については、事前又は事業計画書をご提出いただく際などにご相談ください。

(2) 防災資機材購入事業（ハード事業）

ブロックでの、防災資機材の購入費用に対し補助を行います。

●補助対象経費 下表の防災資機材の購入費用

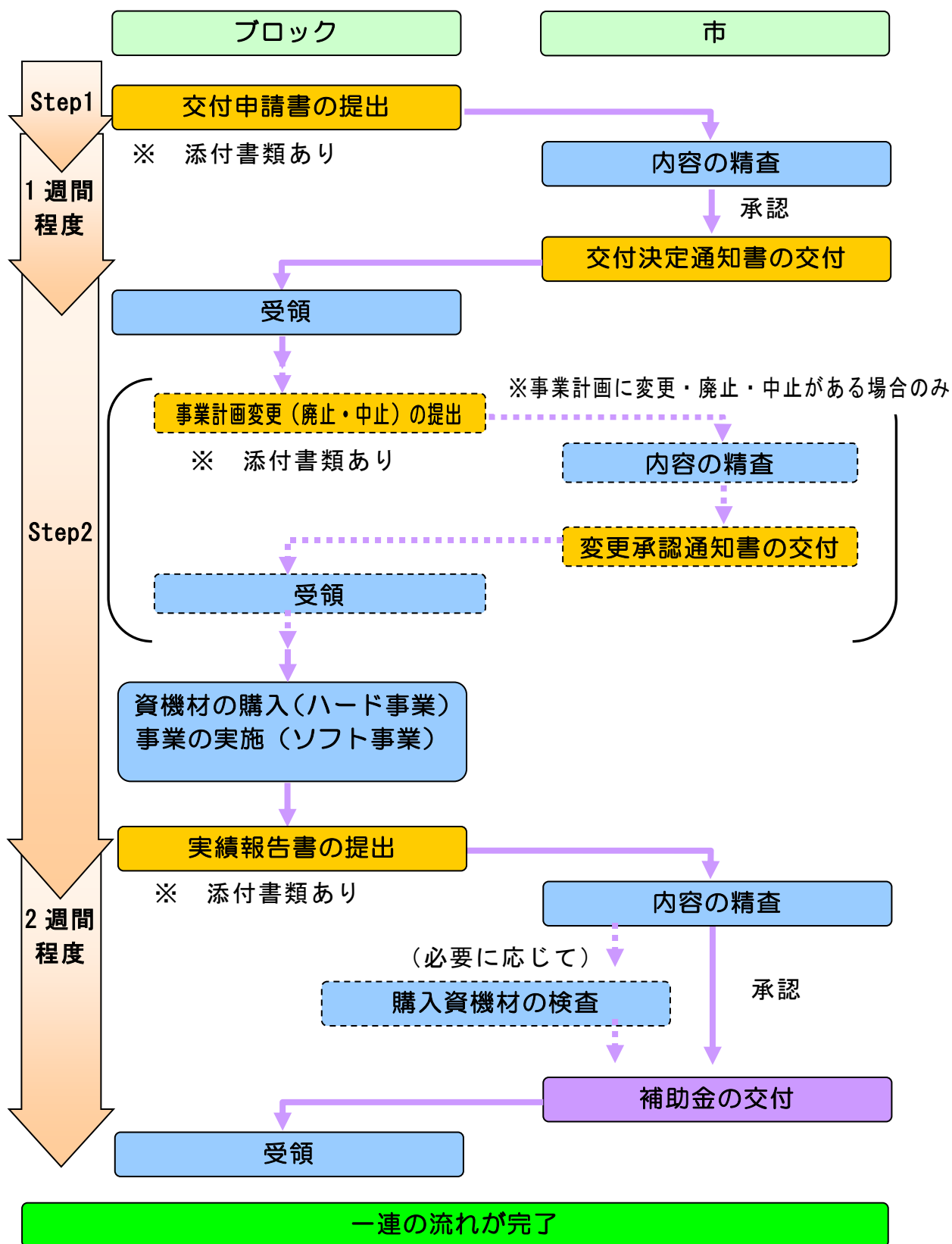
補助事業の名称	区 分	補助対象経費(購入費用)
防災資機材購入事業	防災資機材の購入	街頭に設置する消火器（格納箱含む） 、携帯用ラジオ、トランシーバー、メガホン、ハンドスピーカー、仮設用掲示板、消火用ホース、格納器具一式、バケツ、ヘルメット、防火衣、とび口、エンジンカッター、チェーンソー、ジャッキ、スコップ、ハンマー、バール、ロープ、つるはし、おの、のこぎり、土のう、梯子、救急医療用具、担架、車椅子、テント、簡易トイレ、毛布、発電機、投光器、コードリール、強力ライト、リヤカー、腕章、ヘッドランプ、給水タンク、浄水機、ビニールシート、釜、鍋、保存用食料、飲料水その他市長が特に必要と認める経費

※ この表に記載されていない資機材を購入する場合は事前にご相談ください。

(3) 補助額

令和 3 年度から令和 5 年度までの 3 年間で、合計 50 万円を限度額として購入費用の 5 分の 4(千円未満切捨て)を補助します。

(4) 申請の手順



※ 補助金の交付決定前に、補助事業を実施しないでください。

※ 補助金の交付は、口座振込となります。

【記入例】

第1号様式（第5条関係）

自主防災組織補助金交付申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

清須市長 様

代表者は市政推進委員の
住所と氏名

ブロック名(〇〇第1ブロック)

代表者 住所 清須市・・
氏名 清須 太郎 ㊟

※自署した場合、押印は不要です。

このことについて、清須市自主防災組織補助金交付要綱第5条の規定に基づき、下記のとおり補助金の交付を申請します。

事業費の合計に4/5をかけた金額
(千円未満切捨て)

記

名称と区分を転記
(p11・12表参照)

1 補助金申請額 金 305,000円

2 補助事業の名称・区分 (防災資機材購入事業・防災資機材の購入)

3 補助事業完了予定年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

添付書類

- (1) 事業計画書
- (2) 収支予算書
- (3) 見積書の写し
- (4) ブロックの規約（案でも可）
- (5) 市長が必要と認める書類

見積書が取れないものについては、金額の分かる書類を提出してください。

【記入例《任意様式》】

令和〇〇年度自主防災組織補助金交付事業 (計画)・実績) 書

ブロック名 (〇〇第1ブロック)

1 事業名・区分	防災資機材購入事業・防災資機材の購入
2 保管場所	〇〇〇公民館
3 事業の内容 (購入内容)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 携帯用ラジオ・・・2台 ■ 発電機(2.4kva)・・・1台 ■ 投光器(400W)・・・1台
4 事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 携帯用ラジオの購入 地震などの大災害発生時に、災害情報をはじめ生活に必要なさまざまな情報の入手が可能となる。 ■ 発電機の購入 地震などの災害に伴う停電に備え、必要最低限の照明機器などを作動させるための電力が確保できる。 ■ 投光器の購入 地震などの災害に伴う停電に備え、公民館の入口付近を照らすなど、屋外での照明が確保できる。

【記入例《任意様式》】

令和〇〇年度自主防災組織補助金交付事業 (計画)・実績) 書

ブロック名 (〇〇第1ブロック)

1 事業名・区分	自主防災組織活性化事業・防災啓発活動の実施
2 実施日時	〇〇年〇〇月〇〇日 ××時××分 から 〇〇年〇〇月〇〇日 ××時××分 まで
3 実施場所	△△△公民館
4 参加対象範囲及び 参加(予定)人数	〇〇〇ブロック 100人
5 事業の内容	<p>■ 防災マップ(手づくりハザードマップ)の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営者会議(参加者の選定、実施スケジュールの策定、文房具などの調達) ・勉強会(過去の災害、ハザードマップについて) ・まち歩き(危険な場所、障害物などの把握) ・マップ作成(印刷の発注) ・意見交換
6 事業実施による 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難の問題点を話し合い、地域における安全な避難経路を選定することができる。 ・ブロックが自ら手づくりハザードマップ作成を実践することで、「理解と気づき」による自助行動ができる住民層の拡大が図られ、また、関心の薄い住民層への啓発にもつながる。

注1 補助事業の内容は、区分ごとに詳細に記載してください。

【記入例《任意様式》】

令和〇〇年度自主防災組織補助金収支 (予算・決算) 書

事業名・区分 (防災資機材購入事業・防災資機材の購入)

ブロック名 (〇〇第1ブロック)

収入の部

千円未満切捨て

(単位：円)

項目	予算額	摘要
市補助金	305,000	
ブロック会計	77,200	
合計	382,200	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	摘要
備品購入費		
携帯用ラジオ	9,000	3台
発電機	250,000	1台
投光器	105,000	1台
消費税	18,200	
合計	382,200	

金額が一致

【記入例】

第5号様式(第8条関係)

自主防災組織補助金実績報告書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

清須市長 様

補助金交付決定通知書
(変更等があった場合は変更承認通知書)
の日付・文書番号を転記。

ブロック名 (〇〇第1ブロック)
代表者 住 所 清須市・・
氏 名 清須 太郎 印

※自署した場合、押印は不要です。

令和〇〇年〇〇月〇〇日付け〇〇清須危第〇〇号で補助金の交付決定を受けた補助事業の実績について、清須市自主防災組織補助金交付要綱第8条の規定に基づき、関係書類を添えて次のとおり報告します。

記

名称と区分を転記
(p11・12表参照)

- 1 補助事業の名称・区分 (防災資機材購入事業・防災資機材の購入)
- 2 補助金交付決定額 金 **305,000**円
- 3 補助事業完了年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
- 4 添付書類
 - (1) 収支決算書
 - (2) 請求書及び領収書の写し
 - (3) 事業の開催要項、状況写真、その他内容及び効果が確認できる書類
 - (4) 振込口座の通帳の写し
 - (5) 市長が必要と認める書類
- 5 振込先

補助金交付決定通知書
(変更等があった場合は変更承認通知書)
の交付決定額を転記。

振込先金融機関名	ABC 銀行 信用金庫 清須 支店 農 協 支 所 出張所
口 座 番 号	当座・普通 1234567
ふ り が な	〇〇ぶろっくじしゅほうさいかいかいけいほうさいたろう
口座名義人氏名	〇〇ブロック自主防災会 会計 防災 太郎

4. 消火器薬剤の購入に関する補助金

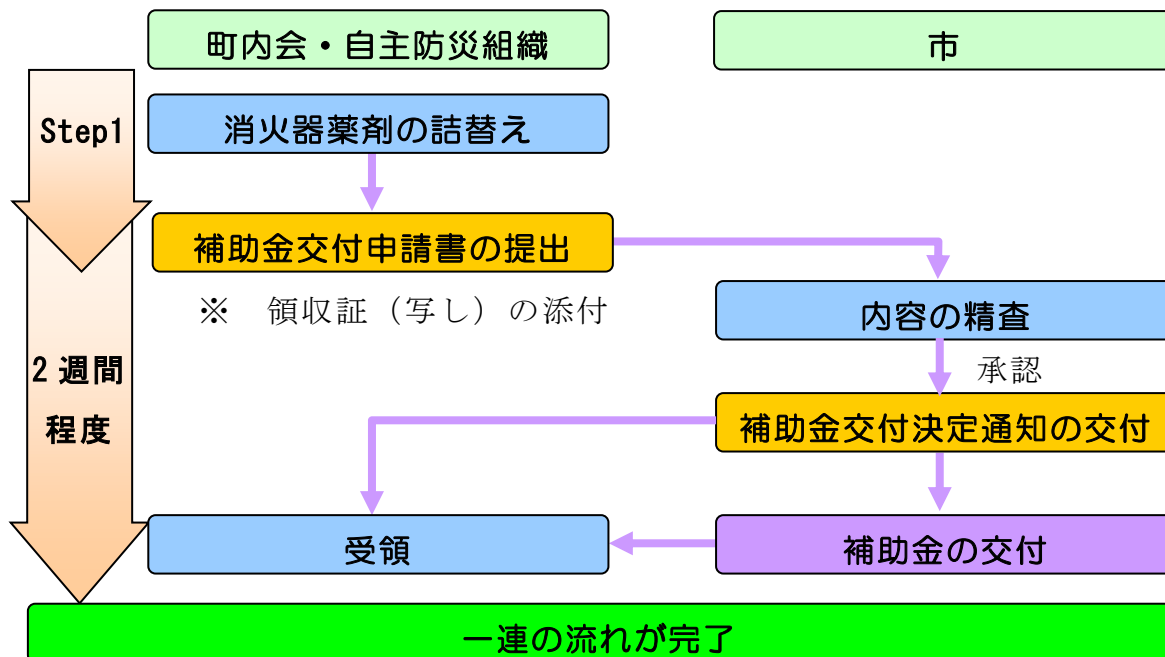
火災は火が広がらないうちであれば、消火器1本で十分に消火することができます。この制度は、初期消火活動の重要性と防火意識の高揚を図ることを目的として、町内会・自主防災組織が所有する消火器の薬剤の購入に要する経費に対し、補助金を交付します。

(1) 補助対象

下表の消火器薬剤の詰替えに要した費用

補助対象	補助額
町内会・自主防災組織が所有する消火器で、防災訓練、火災又はいたずらで使用された消火器の薬剤の詰替え	詰替え費の全額

(2) 申請の手順



※ 補助金の交付は、口座振込となります。

【記入例】

第1号様式(第3条関係)

消火器の消火薬剤詰め替え費補助金交付申請書

令和〇〇年〇月〇日

清須市長 様

申請者 住所 **清須市須ヶ口 1238 番地**
氏名 **清須 一郎** 印
(清須自主防災会)
電話 **052-400-2911**

※自署した場合、押印は不要です。

清須市消火器の消火薬剤詰め替え費補助金交付要綱第3条に基づき、下記のとおり補助金の交付を申請します。領収書の金額を記載してください。

記

補助金申請額	10,500 円
補助金決定額	円 ※記入しないでください。
添付書類	領収書及び振込口座の通帳の写し

下記の金融機関の預金口座に振込みを依頼します。

振込先金融機関名	BOJ 銀行 清須 本店支店 信用金庫 農協 出張所
口座番号	当座 普通 1234567
ふりがな	きよすじしゅぼうさいかい かいけい ききたろう
口座名義人氏名	清須自主防災会 会計 危機太郎